



学校だより11月

HP <http://sakawa-e.saitama-city.ed.jp/>

◇花と歌と笑顔あふれる学校◇

教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく

■発行日 平成30年10月31日

■発行 さいたま市立栄和小学校

さいたま市桜区栄和1-7-1

Tel 048-853-4022

読書の秋

校長 濱崎 泰行

校庭の木々も紅葉が増してきました。秋真っ盛りです。食欲の秋、運動の秋、芸術の秋、読書の秋、……旅行もいいかもしれませんね。何をするにもよい季節です。さて、皆さんは何の秋でしょうか。私は読書の秋です。

特に風邪などで寝込んだときは数冊の本を枕元に置くようにしています。西村京太郎のトラベルミステリーでは、ミステリーのおもしろさに加え、家にいながら旅行気分が味わえます。また、池波正太郎の鬼平犯科帳では、悪人と言われる人でもやさしい一面がある。人情の機微に触れ思わず、「人間ってこんなものだよな」と感慨に浸ったこともあります。

前述したように様々な秋・様々な趣味があつていいと思います。しかし、生涯に渡って人生を楽しむためには読書は外せない趣味だと思います。おいしいものを食べ歩く、スポーツをする、旅行に行く、これらも楽しいことですが、健康でなければその楽しみを十分に味わうことは難しいでしょう。自分が高齢になり、体が弱った時のことを考えると…

読書の楽しみを子どもに味わわせることは、その子が生涯に渡って人生を楽しむ術を教えることになると私は考えています。本はあらゆるジャンルで初心者対象のものから上級者対象のものまでそろっています。しかも、中には高価な本もありますが、数百円から数千円で購入することができます。さらに、電車の中で、病院の待合室で場所を選ばず、一人で楽しむことができます。それが読書です。

学校では本の楽しみを子どもに味わわせるために、10月9日～11月9日まで読書月間を設けました。読み聞かせ、貸出アップキャンペーン(一人2冊まで貸出可)、

ブックウォーク(何冊・何ページ読むか目標を決め、読んだ本を記録する)等に取り組んでいます。その他、通年の取組として、4月から毎週1回、朝読書を実施しています。

ご家庭でもぜひ、お子さんに読書の習慣をつけていただければと思います。そのためには、保護者の方が本を読む姿を子どもに見せることも一つの方法かもしれません。